

Well-being Report 2022

さいくま健康白書

済生会熊本病院にとって、「職員」は最も大切な財産です。
すべての職員が心身ともに健康で、明るく、安心して働ける
職場環境を実現することを宣言します。

力を合わせ、医療を通じて、地域社会に貢献します。



健康経営戦略マップ2022

各アウトカムの数値目標を、現在の数値を元に実現可能な範囲で設定しました。この戦略マップの指標改善に向け、計画的に活動していく予定です。

| 健康投資 | | 健康投資効果 | | | | 目標 |
|--------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------|---------------------------------|--------------------------|---------------------|
| | | 取り組み状況に関する指標 | 行動・生活習慣アウトカム | 健康状態アウトカム | 健康経営アウトカム | |
| 健康診断実施 | ・体重買取キャンペーン ・Wellness Program | 「体重買取キャンペーン」参加者数 | 運動習慣がある職員割合の向上 | BMI25以上の職員率の低下 | 生活習慣病因子がない職員率の向上 | 80% |
| | スポーツイベント（ヨガ・体力測定等） | 「Wellness Program」参加者数 | | | | プレゼンティーズム75%未満の割合低下 |
| 応急処置一時休養診療対応 | 食育イベント実施 | 「オフィス・ヨガ」平均参加者数 | 健康的な食生活を送る職員割合の向上 | 腰痛保有者率の低下 | アブセンティーズムの低下 | 3日 |
| | 部署対抗歩数ランキング「30日間チャレンジ」実施 | 「体力測定」参加者数 | | | | 精密検査受診率の向上 |
| メンタルヘルス対策 | 精密検査・特定保健指導受診勧奨 | 「レシピコンテスト」参加者数 | 特定保健指導受診率の向上 | ストレスチェックハイリスク率の低下 | メンタル疾患による休職者数減少 | 18人 |
| | ・新入職員ヒアリングの実施 ・メンター制度導入 | 部署対抗歩数ランキング「30日間チャレンジ」参加者数 | | | | |
| 人事制度評価制度 | 階層化別研修への介入 | 健康経営に関するアンケート回答数 | 十分な睡眠がとれている職員割合の向上 | 多様な立場の職員が尊重されていると感じている職員割合向上 | ワーク・エンゲージメントが高い職員の割合向上 | 50% |
| | 健康経営についての情報発信 | 腰痛・睡眠・女性特有の健康課題に関する情報提供数 | | | | 乳房オプション受診率 |
| | Wellness support team チームW募集 | Wellness support team チームW応募者数 | | | | |
| 魅力的な病院作りPJ | ストレスチェック実施 | ストレスチェック実施率 | 婦人科オプション受診率 | ひとりひとりの価値観を大事にしてくれると感じている職員割合向上 | お互いに理解し認め合っていると感じる職員割合向上 | 80% |

主な健康指標2022

01 健康診断データ

定期健康診断受診率

100%

精密検査受診率

2021年
72.2%

(目標: 80%)



特定保健指導受診率

2021年
28.3%

(目標: 50%)



2020年
65.8%

2019年
58.4%

2021年
31.9%

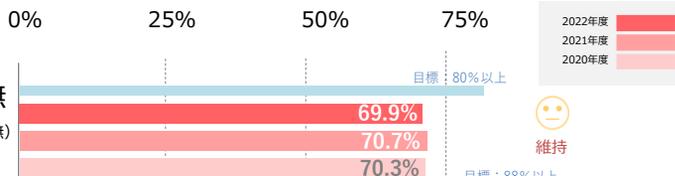
2020年
26.0%

精密検査受診率の増加に加え、
運動習慣がある人の割合も増
えており、職員の健康意識が
少しずつ上がっています。



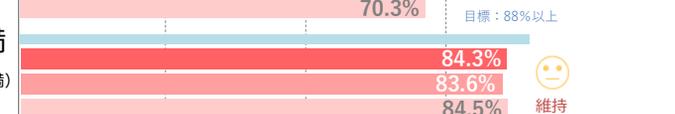
生活習慣病リスク無

(血圧、脂質、糖代謝すべて異常無)



非肥満

(BMI25未満)



腰痛保有者

(自覚症状で腰痛有に
チェックがある)



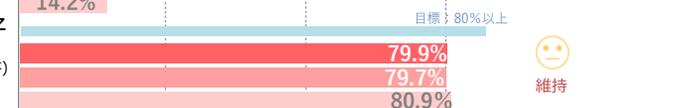
運動習慣有

(1日30分以上の運動を
週2回以上している)



睡眠良好

(「良く眠れている」と回答)



食生活良好

(食事のカロリー、バランスが
どちらも「既に改善済み」と回答)



02 ストレスチェックデータ

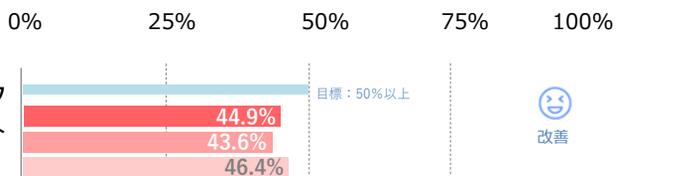
受検率



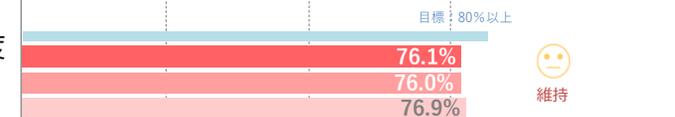
ハイリスク率



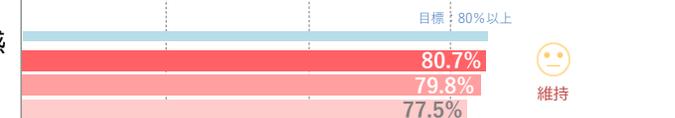
高ワーク
エンゲージメント



仕事満足度



職場の一体感



各項目の詳細

■高ワークエンゲージメント
下記問いの回答が、共に「そうだ」もしくは「まあそうだ」である
Q仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる
Q自分の仕事に誇りを感じる

■仕事満足度
下記問いの回答が、「満足」もしくは「まあ満足」である
Q仕事に満足だ

■職場の一体感
下記問いの回答が、「そうだ」もしくは「まあそうだ」である
Q私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている

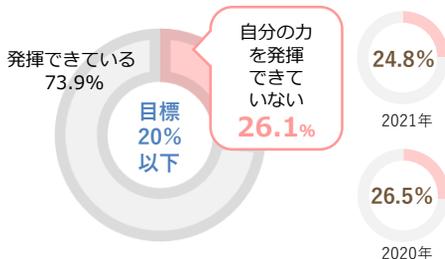
ストレスチェックハイリ
スク者が減少、ワークエン
ゲージメントも改善しており、
職場風土が良くなっているよ
うです。



主な健康指標2022

03 プレゼンティーズムの状況

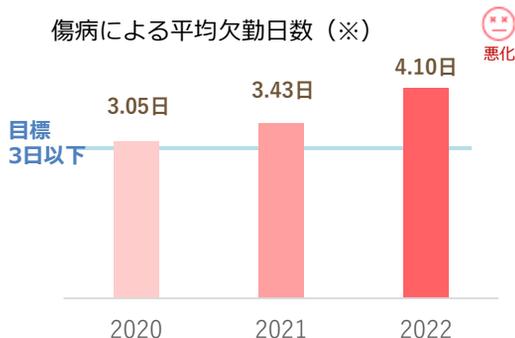
自分の力を発揮できていない職員（※） 悪化



（※）「病気やけががないときに発揮できる仕事の出来を100%とした場合の過去4週間の自己評価」が75%未満の職員（Single-Item Presenteeism Question 東大1項目版）

04 アブセンティーズムの状況

傷病による平均欠勤日数（※） 悪化



（※）傷病を理由に2週間以上休んだ人の休職日数の全職員平均（欠勤、有給休暇、休職制度利用も含む）÷4/1時点の職員数

メンタル休職者が増加したことにより、傷病欠勤日数が増えたと思われます。



05 休職者数

メンタル疾患による休職者数（※） 悪化



（※）年度中一度でもメンタル疾患にて1ヶ月以上欠勤・休職した（前年度から継続を含む）職員数

メンタル疾患以外による休職者数（※） 改善



（※）年度中一度でもメンタル疾患以外にて1ヶ月以上欠勤・休職した（前年度から継続を含む）職員数

メンタル休職者増加の要因としてコロナ禍での人員不足に伴う業務量の増加・役割負担の増加が考えられます。



06 健康経営度調査結果

（参考）2022年4月1日時点 職員数：1,859名

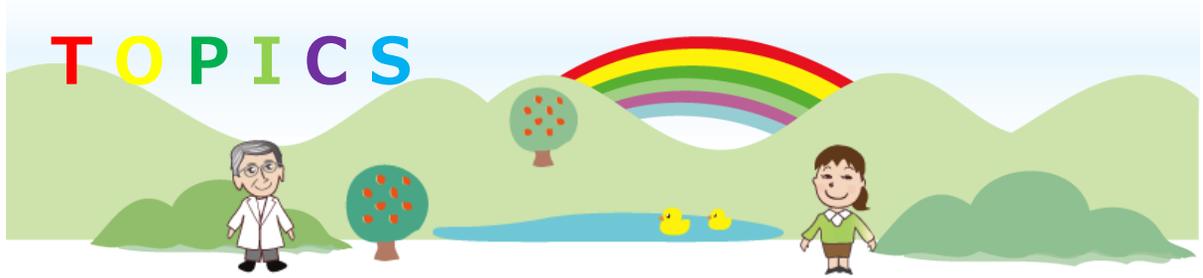
| | 当院 | 業種平均 | 前年度当院 | 前々年度当院 |
|---------|------|------|-------|--------|
| 総合評価 | 60.9 | 50.1 | 58.5 | 60.7 |
| 経営理念・方針 | 61.0 | 50.8 | 57.6 | 60.3 |
| 組織体制 | 62.3 | 50.1 | 58.4 | 60.2 |
| 制度・施策実行 | 56.8 | 48.9 | 56.7 | 60.2 |
| 評価・改善 | 62.5 | 50.1 | 60.6 | 61.8 |

（※）数値は全社平均を元にした偏差値

健康経営調査受検4回目、全ての項目で偏差値が上がっています。職員の皆さんの健康度が上がってきたことを大変嬉しく思います。



2022年度の取り組み



仕事と治療の両立支援制度

治療を受けながらも、安心して働き続けられる職場環境実現の為ため、2020年9月より「仕事と治療の両立支援制度」を導入しました。2022年度は、12名が利用し、復職後の業務調整やサポートが継続して行えるようになり、休職後の復職がスムーズとなりました。



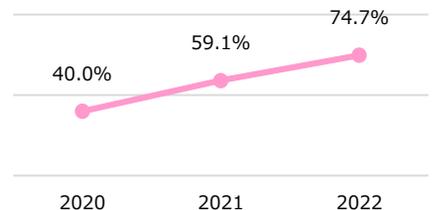
職員健診における乳房検査の全額補助開始（36歳以上偶数年） 初の試み！

乳がんは女性のがん罹患率のトップです。しかも患者数、死亡数ともに増加し続けています。好発年齢のピークは40～50歳代であり、女性が家庭や社会の中で活躍し重要な役割を果たす年齢層において、命を落とすリスクの高い病気なのです。だからこそ、乳がん検診が非常に重要です。

当院の乳房検査は、希望者がオプション検査として申し込み、実施するため2021年の受診率は41.5%と低い現状でした。また、2021年度乳房検査アンケートでは30代で乳房検査を受けたことがない職員が23%、また、毎年及び2年に1回受診している職員は56%でした。

そのため、乳がんの早期発見早期治療に繋げるため、2022年度より36歳以上偶数年の職員に乳房検査の全額補助を開始しました。

女性職員の乳房検査受診率の推移（36歳以上）



36歳以上の女性職員が2年に1回は乳房検査を受けることができる仕組みができ、今後、乳がんの早期発見早期治療に繋がることを願っております。また、35歳以下の女性職員も積極的に乳房検査を受診してほしいです。



メディカルフィットネスセンター×職員健康管理室コラボ企画 初開催！

院内にあるメディカルフィットネスセンターは全職員が無料で利用できる施設です。しかし、職員の利用者は少なく、認知度が高くありませんでした。また、職員の運動習慣者率は2021年度の調査で13.3%と低く、院内のフィットネスセンターを再周知することで、運動を始めるきっかけを作ろうと考えました。そこで、新規利用者数を増やすことを目的に「運動指導士サポート付きフィットネス体験」を始めました。今後も様々なイベントを開催し、多くの職員に利用してもらいたいと考えています。

職員の運動習慣者率



運動指導士サポート付きフィットネス体験

運動器具の使用方法から、体組成測定、個人にあった運動方法のアドバイスまで、運動指導士が個別に対応し、サポートする企画は、3か月間で29名の方が利用されました。

全員無料

運動指導士サポート付き

フィットネス体験ははじめます！

初回に限り、運動指導士が個別に対応いたします。ご自身に合った運動のアドバイスや機器の使い方、体組成の測定が出来ます。



要予約

申し込みは
こちらから

- ・実施曜日：火～金（13:00,17:30,18:30）
- ・対象：フィットネスの利用が初めての方、久しぶりの方

2022年度の取り組み



健康づくりイベント

「ヘルシーレシピコンテスト」×「TFT」

職員に「食」について考える機会を提供するため、1年に1回開催しているレシピコンテスト。2022年度はヘルシーだけど美味しいレシピを職員から募集し、試食会で選ばれた、レシピをTFT（TABLE FOR TWO）ランチとして職員食堂で提供しました。TFTが制定したフォーツデー（4/2）に合わせ、3/27～3/31の5日間販売。さらに、メールやデジタルサイネージを活用し、TFTの取り組みについて紹介しました。TFTを通して、「SDGs」の理解を深め、社会貢献に繋がる取り組みを継続的にやりたいと考えています。

集まったレシピ
39品

TFTランチ売り上げ数
89食



TFTランチ；2019年に開始するも、COVID-19のため、一時休止。今回約4年ぶりの再開。

腰痛対策

移乗リフトの導入

業務上疾病で最も多い腰痛の発症を無くし、患者の安全を担保した、質の高いケアの提供するために2021年10月移乗リフトを3台導入し、リハビリテーション部を中心に利用促進に努めています。

腰痛予防環境ラウンドの実施

腰痛者が多く、腰痛の発生しやすい下記部署ヘリハビリテーション部担当スタッフ・医療安全管理室とともに環境ラウンドを行いました。

- ・予防医療センター内視鏡洗浄時のアドバイス実施（洗浄台の環境整備・洗浄時の体制など）
- ・予防医療センター内視鏡検査終了後のストレッチャー搬送時のアドバイス実施
- ・予防医療センター採血室環境アドバイス実施

～2022年度アンケート結果～

腰痛保有者 **18.4%** → **16.7%**

部署対抗歩数ランキング「30日間チャレンジ」

このイベントは、組織全体の健康意識の向上だけでなく、職員同士がコミュニケーションをとる機会となることを目的として、2015年から開催しており、今年度で8回目の開催となります。このようなイベントや病院全体の様々な取組により、職員同士のコミュニケーションの活性化が計られ、職場の一体感が高いと感じている職員割合も向上してきていると考えております。

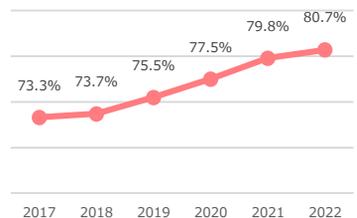


～2022年度アンケート結果～

- ・普段より活動した **86%**
- ・コミュニケーションが活性化した **100%**

(※) ストレスチェック下記問いの回答が、「そうだ」もしくは「まあそっだ」であると回答した職員割合
Q私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている

職場の一体感が高いと感じている
職員割合の推移 (※)



体重買取キャンペーン

1 kg減量につき、
品物(※) 1 kg進呈

(※)2022年度より、お米、発芽玄米、プロテインドリンク、から選べるようにしました！

参加人数 **320**名 総買取体重 **243.7** kg
(参加率16.9% ※平均1.6kg減、最大17kg減)



生活習慣改善プログラム Wellness Program

BMI・脂質・血圧・血糖・尿酸にて異常のある職員を対象とした3ヶ月間のプログラム。保健師・運動指導士から直接指導が受けられます。

参加者 **30**名

～体重減少率～

78%以上



2023年度に取り組みたい重点課題



1.生活習慣病対策

- ・生活習慣病因子を減らす為の健康イベント開催（運動、食生活、睡眠）
- ・精密検査対象者・特定保健指導対象者への受診奨励



2.メンタルヘルス対策

- ・新入職員ヒアリングの介入
- ・メンター研修の充実
- ・両立支援制度の整備
- ・ストレスチェックの開示
- ・ラインケア教育の強化



3.歯とお口の健康

- ・オーラルケアに関するアンケートの実施
- ・情報提供資料・掲示用ポスター作成、普及啓発
- ・マウスウォッシュの無料提供



実施予定の健康づくりイベント

約3年続いたCOVID-19は2023年5月に5類感染症となり、イベントがさらに開催しやすくなりました。今年度は「睡眠」や「歯とお口」など今まで取り組んでいなかった項目に着手し、様々なイベントを計画中です。今後も職員が健康に対する意識を高め、イベントを通して職員同士が交流でき、楽しい職場と感じてもらえるような取り組みを行いたいと考えています。

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 通年 |
|----|-----------------------|------------------------------|----|----------|--------------|------------------|-----|------------------------------|----|----------|------------------|---------------|
| | 体重買取キャンペーン | | | | | 歩数対抗ラジカゲ | | 食育イベント | | | | ヨーガ |
| | New!! SAIKUMAヘルスチャレンジ | | | | New!! 睡眠イベント | New!! ウォーキングイベント | | | | | New!! ウォーキングイベント | 足の健康フェック |
| | | New!! 歯とお口のイベント | | 体力測定イベント | | New!! 歯とお口のイベント | | | | 体力測定イベント | | 腹圧性失禁支援に対する支援 |
| | | 生活習慣改善プログラム Wellness Program | | | | おにぎりフォトコンテスト | | 生活習慣改善プログラム Wellness Program | | | | |
| | | ♡ | | | ♡ | | | ♡ | | | ♡ | |

♡ = 女性限定開催「美姿勢塾」

職員健康管理室メッセージ

今回の結果から肥満者や生活習慣病のリスクを持つ人は比較的少ないことがわかり、働くみなさんの健康状態は良いといえます。一方で、精密検査受診率や特定保健指導受検率が低いことが問題です。健康診断は受検すれば安心でなく、必要時は精密検査を受診する、健診結果をもとに生活習慣を変えていくことが重要です。2019年に健康宣言を行い、様々な試みをスタートさせ、徐々にみなさんの中に健康への意識が芽生えてきたと思いますが、今後はこの健康経営をさらに推し進めていくことで、最終的に一人ひとりが自ら進んで健康づくりを行っていただけるようになって欲しいと思っています。これからもみなさんの健康づくりを全力でサポートしていきますので、ぜひ一緒に頑張っていきましょう。



職員健康管理室 室長 菅 守隆

